

7月 ようちえんだより

幼保連携型認定こども園
西神戸 YMCA 幼稚園

この頃、全園児が集まる礼拝後に「やりたいこと」「見せたいこと」を披露する子どもの姿があります。
「クラスで楽器の合奏が楽しく上手くできたのでみんなに聴いてもらいたい」「コーナーで作った”蛇腹折り”が長くなったので、身体に巻きつけるとステージ衣装みたいに可愛くなったから衣装を着て、ダンスを踊ったり歌を歌いたい」など事前に子どもたちが交渉しに来ます。何でも「はい。オッケー」という訳ではありません。「みんなが楽しくなれるかな?」「みんなが応援してくれるかな?」など演じる側だけが楽しいのではなく、観てくれる人も楽しい気持ちになれるのか?みんなの前でパフォーマンスするなら、生半可な気持ちではなく「やるぞ!」という気持ちを持って”張り切って”やれるのか?リハーサルをし「オッケー!」となったら礼拝後に登場します。この活動で嬉しいのは、演じる人たちの張り切る姿!楽しませたい気持ちの表れ!自分たちで決めたことです。ですから気持ちも上がり、張り切って歌ったり踊ったり演奏してくれます。また、観る側の子どもたちや先生たちの反応です。大声援、拍手で温かく盛り上げてくれます。この温かい安心感の空間で子どもたちは心も身体も大きく育っていくと感じます。幼稚園の何よりの良いところだと思います。これからもどんどん自分たちから発信することが出来るようになればいいなと思います。

玄関ホールには素晴らしい粘土の作品が飾ってあります。粘土細工が得意な子どもの作品です。生き物が大好きで、何も見なくてもカエルや海の生き物や恐竜を見事に表現します。また、昆虫の紙製作も展示しています。これは昆虫好きの子どもが製作しました。

「ツバメの親子」の絵も展示しています。ツバメの巣が良く見えるところに机と椅子を持ち出してスケッチしながら描いたものです。これらは先生たちからの推薦ですが、展示してもらった子どもは大変嬉しそうです。このような経験で子どもたちは好きなこと、得意なこと、自分の良いところを知り、自信を持つようになります。4CDカードをもらった子どもも、いただいたカードや掲示された自分のカードを見て誇らし気にしています。

神様からいただいた賜物は、目に見える物(こと)、目に見えない物(こと)があります。私たち大人は、その賜物を見い出だしてひとりひとりの子どもたちに大きな自信をつけてあげることが大切だと思います。私たちが子どもに対して”（自身が望む）望ましい姿”ばかり強いていては、その賜物が見えなくなることがあるかも知れません。今月の月主題は「やってみる」です。長い夏休みもやってきます。大人の予定もありますが、子どもたちの「やりたい事が存分にできる時間」＝「自由な時間」を大切にしてください。（自由…他からの束縛を受けず自分の思うままにふるまうこと）何に興味や関心があるのか?どんな行動をし、周りの人とどんな会話をしているのか?子どもひとりひとりの素晴らしい賜物を新たに発見できるかも知れません。

最後に、玄関ホールの小さなケースには5cm大の恐竜の折り紙が飾ってあります。ティラノサウルス・ステゴザウルス・トリケラトプスです。これは小学5年生の卒園生の作品です。1枚の折り紙で折られています。幼稚園の時から折り紙が大好きな子どもでした。今も折り紙が大好きで時間があれば折り紙をしているそうです。

【年主題】

『さあ、漕ぎ出そう 奏でよう』

【年主題聖句】

「わたしは道であり、真理であり、命である。」（ヨハネによる福音書 14 章 6 節）

7月主題 「やってみる」

聖 句 「隣人を自分のように愛しなさい。」（マルコによる福音書 12 章 31 節）